

第2回「令和5年度 持続可能な大阪の成長を支えるダイバーシティ推進事業」に係る大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1. 日時及び場所

日時：令和5年3月27日（月曜日）10時00分から12時00分

場所：エル・おおさか本館11階 セミナールーム

2. 審査方法

審査基準（企画提案公募要領に記載）に基づき、大阪府にて企画提案公募参加資格の確認を行った。選定委員会では、資格適合者について書類審査及びプレゼンテーション審査を実施し、3名の選定委員が提案内容について採点した。各委員の採点結果に基づき選定委員が合議を行い、最終評価点を決定し、最終評価点が採択の基準となる60点を上回る提案者のうち、最高得点を獲得した者を最優秀提案者として選定した。

3. 議事概要

①審査方法等の確認

≪提案状況≫

- 提案事業者：2事業者 【採択予定者数：1者】※受付順
株式会社パソナ パソナ・心斎橋
一般財団法人大阪労働協会

≪審査方法の確認≫

○書類審査

- ・企画提案内容についての書類審査

○プレゼンテーション審査

- ・提案内容について、提案者が15分間のプレゼンテーションを実施。
- ・その後、選定委員による質疑を実施。

≪採択基準の確認≫

- ・総合評価点が100点満点のうち60点に満たない場合は採択しない旨を確認。
- ・提案内容が、業務目標を下回っていない旨を確認。
※業務目標：①ダイバーシティ経営に取り組む（取り組む予定）の企業数 250社
②府内企業に安定就職した学生の数 300人

②審査及び質疑応答

書類審査（5分）、プレゼンテーション審査（15分）、質疑応答（15分）を実施

【主な質問内容】

- ・自身が就職困難者であると気づいてない学生に、本事業に参加してもらう工夫はどのようにするのか。
- ・就職困難性についても色々と種類があるが、その種類に応じた支援等はどのようなものを考えているか。
- ・事業の実施にあたり、大学とどのように連携していくのか。
- ・保護者向けセミナーでは就職困難性を抱える学生の保護者にアプローチする必要があると

思うが、その層にどうアプローチしていくのか、どう集客していくのか。

- ・インターンシップを実施したことがない企業に対し、どのような具体的にどのような支援を実施するか。
- ・インターンシップや学生向けセミナーについて、既存の事業とどう差別化を図っていくのか。
- ・職場体験付き就活を実施にあたり、学生はどんな不安や悩みを抱えているのか。
- ・職場体験付き就活において、企業と学生のミスマッチを回避するため、どのような工夫をするのか。

③採点及び最優秀提案者の選定

書類審査及びプレゼンテーション審査を踏まえ、各委員が提案内容について採点を実施した。各委員の採点結果を基に、合議制により総合評価点を以下のとおり決定した。

《評価点内訳及び提案金額》

| 最優秀提案事業者 | 総合評価点 (100点満点) | 評価点内訳 | | 提案金額 (税込) |
|--------------------|-------------------|-------------------|-----------------|--------------|
| | | 企画提案部分 (85点満点) | 価格点等 (15点満点) | |
| 株式会社パソナ パソナ・心斎橋 | 81.0点 | 66.0点 | 15.0点 | 29,354,000円 |

④選定理由

書類審査及びプレゼンテーション審査の結果を踏まえて、各提案事業者の提案について選定委員が総合評価を行ったところ、2者とも基準(60点)を超える総合評価点を獲得していた。その中で、より評価点の高かった株式会社パソナ パソナ・心斎橋の提案内容は大阪府の事業趣旨をくみ取った具体性のある提案であり、十分な経験と実績を有していた。

以上のことから、株式会社パソナ パソナ・心斎橋を最優秀提案者として決定するものである。

【その他、委員の主な意見】

- ・「就職困難性が高い学生」という幅広い枠組みの中で、就職困難性が高い学生が参加しやすい内容を、詳細に提案していた。
- ・保護者向けセミナーの集客でFacebook等を活用するなど、集客を工夫している点が評価できる。
- ・インターンシップの実施において、企業へのサポート体制を整備しており、実施メニューを複数のコースで準備している点が良かった。
- ・企業向けセミナー等の提案内容では、関係機関や独自のチャンネルで幅広い企業へアプローチできる点が評価できる。
- ・学生向けや保護者向けのメニューについては、抽象度が高い提案であったため、事業を実施する際には大学等とも連携し、より就職に困っている学生を拾い上げられるように取組みを強化してもらうことを期待する。
- ・本事業を通じて就職内定した学生が、こういった特徴があり、本事業のどのメニューが効果的であった等の把握・検証ができると良い。

4. 選定委員会委員（敬称略・五十音順）

| 所属・職名等 | 氏 名 | 選任理由 |
|-----------------------------|--------|---|
| 大阪弁護士会 （ルート法律事務所） | 安達 友基子 | 法律の専門家として、情報保護やコンプライアンス、公正性・公平性の観点を中心に審査。 |
| 一般社団法人 大阪府中小企業診断協会 理事 | 中井 勝博 | 中小企業の経営に精通しており、中小企業の人材確保における課題や、人材不足が経営に与える影響についても造詣が深く、企業側の視点で業務の実効性の観点を中心に審査。 |
| 京都大学准教授 | 村田 淳 | 発達障がい傾向のある学生の就職支援について専門性を有しており、学生全般の就職活動についても知見を有することから、学生の思考等を理解し、マッチングの促進が図られる提案内容となっているか等を中心に審査。 |